

放送日 平成29年10月2日(月)
担当者 都市整備課長 中垣 和彦

おはようございます。都市整備課長の中垣です。

突然ですが、私の趣味は、ドライブです。車はハイブリッドであり燃費もいいことから、天気の良い休みの日には道内各地の観光地などに出かけています。

最近、車を運転していると「外国の方が運転しています」と書かれたステッカーを貼ったレンタカーを見かけることが多くあります。皆さんも見かけたことがあるのではないのでしょうか。

レンタカーを利用する訪日外国人は、2011年から2015年の5年間で約4倍に増加しているそうです。

外国人観光客のレンタカー利用者の増加に伴って、外国人観光客が当事者となる交通事故も増加しているとのこと。昨年の9月には、帯広市の交差点で、右から来たトラックと出会い頭に衝突し、トラックの運転手が死亡するという痛ましい事故が発生しております。

外国人観光客に関する道路行政の動きとしては、高速道路に路線番号を付ける高速道路ナンバリングや道路案内標識の英語表記の改善、一時停止の標識にSTOPと英語表記を併記する、カラー舗装やピクトグラムを活用した標識、多言語注意看板の設置など、外国人観光客をはじめ、すべての人にわかりやすい道路環境を実現するために、様々な方策が進められております。

私も道路行政に携わるものとして、今までは高齢者や障がい者の方などの利便性及び安全性の向上を考え、事業の執行に努めて参りましたが、今後は更に外国人観光客の方を含めた全ての方に対して気を配り、誰もが安全で安心して、快適に生活できるような道路づくりを目指していきたいと感じているところであります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月3日(火)

担当者 建築課長 中島 秀男

おはようございます。建築課長の中島です。今日は、先月の連休を利用して、故郷の奥尻に里帰りした時のお話をします。奥尻と言えば、平成5年に甚大な被害があった北海道南西沖地震を思い浮かべるとは思いますが、現在では、震災直後の姿を思い出せないほど街並みが整備され、観光地の姿を取り戻しています。さて、話は変わりますが、皆さんは奥尻出身の元プロ野球選手の佐藤義則さんをご存知でしょうか。奥尻港のフェリー乗り場に、「歓迎ようこそ佐藤投手のふる里へ」という横断幕が掲げられていますが、佐藤さんは奥尻出身で、昭和51年日大4年の時にドラフト1位で当時の阪急ブレーブスに指名され、翌年の昭和52年にパリーグの新人王を受賞し、その後も先発投手として活躍し、昭和最後の20勝投手となり、40歳を過ぎてからノーヒットノーランを達成した大投手でした。44歳で現役を引退した後は、日ハムのほか複数の球団で投手コーチを歴任し、現在は、今年パリーグを制したソフトバンク・ホークスの投手コーチを務め、優勝を陰で支えた方です。その佐藤さんですが、新人の時、当時全国放送されていたプロ野球ニュースで紹介されましたが、番組のキャスターの一言が忘れられません。その言葉は、「みなさん知っていますか。奥尻島っていう島を」。その時の気持ちは、恥ずかしさがありつつ、誇らしい気持ちもあったと記憶しています。プロ野球は、子どもたちにとっては憧れの職業でもあります。北広島は、ボールパークでマスコミにも取り上げられていますが、そのような環境の中で、いつかは北広島出身の一流プレイヤーが現れて、北広島がもっと知られるような、そんな日が来てほしいと願っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月4日(水)
担当者 土木事務所長 新田 邦広

おはようございます。土木事務所長の新田です。

10月に入り秋の深まりとともに、木々の紅葉が綺麗になってまいりました。

先日、自宅の庭先で今年初の雪虫を見つけました。除雪に携わる者にとっては、「いよいよ来るのか」と身構える時期でもあります。

昨シーズンの冬は、11月の初旬に市内の平均で33cmもの降雪があり、近年には無い早すぎる雪に、頭の中も白くなりながら対応に追われたことが思い出されます。また、クリスマスまでに、50cmを超える大雪が2回もあり、その時点の降雪量としては、平年の約2倍にも達するという極端な降り方の冬だったといえます。

夏場における記録的な大雨による被害が全国各地で発生していますが、冬場の気象状況にも異変を感じるが増えてきていると思います。天気に抗うことはできませんが、想定外の枠を広げて、少しでも柔軟な対応ができるよう努めていかなければならないと、改めて考えているところです。

「春には解けてしまうこの雪が無ければ」と、雪を厄介者と思ってしまいましたが、必ず降る雪を避けることはできません。ならば、「雪が降るから春には大きな喜びを感じる」「雪に覆われる厳しい環境があるから人は助け合う気持ちが培われる」など、北国の良さを今一度探りながら冬を越していきたいと考えております。

今年の冬も除雪事業者と土木事務所が一丸となり、より良い除排雪に繋がるよう努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月5日(木)
担当者 観光振興課長 山田 基

おはようございます。観光振興課長の山田基です。

今日は、私がお勧めする北広島のグルメをご紹介しますと思います。そのグルメとは、きたひろコロッケ、春巻、グラタン、カレー、プディングの5つの商品です。この商品は、平成24年度に北広島市が地元の冷凍食品製造会社の見方さんと共同開発によって誕生しました。北広島のまちの魅力を発信するため、地元の食資産として開発したこの商品は、「きたひろ農学校シリーズ」というオリジナルのブランドで、全ての商品には、北広島産のジャガイモを使用しており、三井アウトレットパークの北海道口コファームビレッジとホクレンくるるの杜で冷凍食品として販売しています。(一部のお店で取り扱っていない商品があります)

どの商品もお勧めですが、私のお気に入りには、きたひろカレーとプディングです。カレーはインド人シェフが開発したスパイシーに仕上がったもので、カレーには珍しく、北広島産の大根が入っています。この大根がバリバリと歯ごたえがあり、少し変わっていますが、カレー通の方にも十分に満足いただける商品だと思います。そしてプディングは、北海道産のカボチャやアズキなどを加え、蒸して焼いた、甘さ控えめのスイーツとなっており、そのままでも美味しいのですが、オーブンなどで暖めると、風味が一層豊かになり、カボチャの甘味が引き立ちます。ここでは詳しくご紹介できませんでしたが、コロッケや春巻き、グラタンも大変美味しくいただける商品となっております。皆さんには、是非ともご家庭でお召し上がりいただき、北広島の食の魅力を知って、そして楽しんでいただきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月6日(金)
担当者 農政課長 砂金 和英

おはようございます。経済部農政課長の砂金和英です。

昨年は、農政課の紹介をさせていただきましたので、今年は、併任発令されております農業委員会の仕事を紹介させていただきます。農業委員会、聞いたことはある、でも何をしているかわからない、役所の職員が農作業をしているでもない、農政課とは何が違うのだろう、農業には関係あるだろう、およそこのような印象ではないかと思います。ただ、農地で何かしようとする時には、自由にできない、農地委員会だか農業委員会だか、役所で手続きがいるのではないか、ということはどこかで聞いたことがあるのではないのでしょうか。今お話ししたように、農業委員会は、農地について何かしらの手続きをしていただく農地の総合窓口であり、また、私たちの日々の食べ物を生産する田や畑、牧草地といった農地を守り農業の担い手にしっかりとまとめていくことを主な仕事としています。もちろん農地は、個人の財産であり、所有者の方の実情をお聞きすることや、時には企業の経済活動のために農業以外の用途に利用されることもあり、窓口の対応一つで相談に訪れる方の利益にも不利益にもなり、緊張することが多い職場です。現在、窓口には専任の職員2名と農政課に併任発令されている職員がおりますが、相談の際には、内容をしっかりと聞きし、慌てず焦らず、驕らず、求められていることを的確に判断し、どのような場合でも最善の手続きを導き出すよう努めているところです。時には満足のいく答えを導き出せない場合や、対応に反省をすることもあります。常に誠実に対応するように努めていることが相談に訪れた方のご理解に繋がっていくものと考えております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月10日(火)
担当者 商工業振興課長 諏訪 博紀

おはようございます。商工業振興課の諏訪です。

今日は、10月10日、1964年のこの日にアジア初の東京オリンピックが開催された日であります。日本民族の心意気と希望と夢溢れるオリンピックマーチが流れ、開会式は、近年のオリンピックにないきちんと整列された入場行進が今でもまぶたに焼き付いております。後に体育の日としスポーツに親しみ、健康な心身を培う日とされました。現在は10月の第2月曜日に定められておりますが、この日に因んで、健康管理についてお話をさせていただきます。

さて、皆さんは普段からご自身の健康に十分な注意を払っておりますでしょうか。社会人として長く働き続けるためには、体調管理、健康維持が重要なテーマになってきます。いくら仕事ができても休みがちというのでは困ります。自身の不注意で体調を崩してしまうのは社会人として配慮に欠けるものだと思います。健康に自信のある方に限って過信してしまい、体調を崩す方は少なくありません。「一病息災」という言葉がありますように、持病の一つくらいある方のほうが早めに予防策をとるため、大病を患うことがないように思われます。

体調を崩さないためには、やはり普段からの心がけが重要となります。今の自分の体に必要なものは何なのか、疲れていないか、睡眠はよくとれているかなど、自分の体の声に耳を傾けてみるのが、とても大切なことではないでしょうか。健康は、自分自身のためだけでなく、家族や社会にとってもかけがえのないものであります。

私自身、定年退職まで約半年となりました。自分の健康は自分で作り、自分で守るという意識を大切に、体調管理を行ってまいりたいと考えております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月11日(水)
担当者 参事(企業誘致担当) 庄司 直義

おはようございます。企業誘致担当参事の庄司です。

10月に入り、今年度も折り返しを迎えましたが、皆さんは自身の健康状態に注意を払っておりますでしょうか。

仕事が忙しいと、体調が悪くてもそのまま放置したり、「このくらいなら大丈夫」と思ってしまいがちです。

私は、今年の1月に「急性胆のう炎」で生まれて初めての入院・手術を経験しました。毎年、人間ドックの結果では胆石の疑いなど何かしらの異常はあったものの、再検査に至らなかったことから、そのまま放置しておりました。以前から食べたり飲んだりすると胃がもたれたり、時には痛みで一晩中眠れないことも数回ありました。しかし、「このくらいなら大丈夫」と思い、痛み止めなどを飲んでその場を凌いでいました。

今思えば、症状があった時に早い段階で病院を受診していれば、薬や通院で治せたかもしれません。私の場合、放置してしまったので入院・手術が必要となってしまい、その結果、職場や家族にも迷惑をかけてしまいました。

自分の体は自分にしかわかりません。決して過信せずに日頃から体調に気を配り、何かあれば早く病院に行き、しっかりと検査・治療してもらうことは、とても大事なことだと思います。

今月は、職員の健康診断があります。また、人間ドックを受診していない方は早めに受診し、今一度、自身の健康状態を確認してはいかがでしょうか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月12日(木)
担当者 業務課長 遠藤 智

おはようございます。水道部業務課長の遠藤です。

私は、平成24年度から現在の部署にいますが、30年前、新人職員として始めて配属された部署も今と同じ水道でした。その頃は、まさにバブル時代の真っただ中で、ピーク時には、日経平均が4万円近くまで上昇し、その時の市中金利は、8%でした。今は0.01%ですから、100万円預けても100円しか利息がつきませんが、当時は、8万円の利息が付きました。1億円あれば800万円の利息になりますから、富裕層は、利息で食べていけると言われた時代です。当時、水道には6億円の資金がありましたので、普通預金として眠らせておくわけにはいきません。当然のこと、資金運用です。毎日毎日が資金運用の日々でした。その時の状況が今でも強い印象として脳裏に刻まれています。

本業よりも資金運用。バブル期はそんな時代でした。ちなみに平成2年度の利息収入は4900万円でした。職員7~8人分の人件費を資金運用で稼いだことになりました。

時代とともに経営環境は大きく変わります。今、改めて振り返ると、バブル時代は、予想しえない異常な時代だったのかもしれませんが。

では、現在の人口減少社会の到来は、当時、誰が予想できたでしょうか。人口減少による料金収入の減。一方では水道施設を更新するための莫大な費用。水道経営を行う上で、大変厳しい状況を迎えつつありますが、経営環境がどんなに変わろうとも、将来にわたり、安全で安心な水を供給していくこと、これが私たち水道事業者の努めと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月13日(金)
担当者 水道施設課長 藤縄 憲通

おはようございます。水道施設課長の藤縄です。

4月に水道施設課へ異動してきて早くも半年が経過しました。私は、採用4年目から12年間水道に在籍しておりましたが、14年ぶりに久々の復帰となります。

その間、水道を取り巻く環境も大きく変わりましたが、その最大の変化は災害に対する備えと老朽施設の更新です。ご存知のとおり、平成7年1月17日に阪神淡路大震災により、水道は甚大な被害を受け、その後水道施設の耐震化が急がれることとなりました。また、平成24年の笹子トンネル天井崩落事故を契機として、水道を含む土木構造物のメンテナンスについて壊れる前に修理や更新を行う予防保全という考えが広く浸透してきました。

北広島市の水道は阪神淡路大震災以降、水道管を新たに布設する際には耐震管を採用するとともに、過去に布設した水道管のうち塩ビ管で継手形式が脆弱と言われている管を優先して更新を進めてきました。その結果、平成28年度末の耐震化率は26%となり、全国の5万人から10万人の耐震化率の19.8%より高い値となっております。おり着実に災害に対する備えは進んでいます。

一方、水を貯める配水池については、市内10箇所の施設のうち9箇所について耐震構造となっており、さらに各配水池には被災時には自動で水を保持するため緊急遮断弁などの施設を整備しております。

日々の生活で水道を意識することはあまり無いと思いますが、いざ災害が発生した場合に一番先に話題となるのが水道です。災害に見舞われないことが最良ではありますが、被災しても粘り強く水を供給できるように水道全体の体制を作っていくたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月16日(月)

担当者 下水道課長 橋本 洋二

おはようございます。水道部下水道課の橋本です。

昨年は、災害時の飲料水についてお話させて頂きましたが、今年は災害時に、トイレがどのくらい大事なものかをお話させて頂きます。

みなさんは、災害に備えて食料や飲料水の備蓄はしていても、トイレの準備をしている家庭は少ないと思います。

災害断水時のトイレは、お風呂の水で流せるから大丈夫と思っている人もいますが、下水道や家屋の排水管が壊れたら破損箇所から汚物が流れ出て、衛生環境が悪化し感染症の温床になります。

また、その復旧には、かなりの時間を要します。

私たちは、災害時には仮設トイレがすぐに設置されると思っていますが、すぐには設置されません。

災害時に私たちはトイレに行く回数を減らすために、水分や食料を控えてしまいがちです。その結果、脱水症状や慢性疾病が悪化するなどして、体調を崩す人もいます。そうならないためにも自宅の便器を利用し、非常用トイレとして使いましょう。

1人の1日当たりのトイレ利用回数は3回から6回と想定し、うんちは1回ごと、おしっこは3回ごとに交換するイメージで4人家族なら一週間分65枚を目安として、家族が7日以上使用できる非常用トイレを備蓄して置くと、いいと思います。

話は変わりますが、みなさんはポケモンカードは知っていますよね？カードの大きさは同じ位で、国土交通省と下水道関連企業が企画監修し自治体が発行しているマンホールカードって知っていますか？

今、マニアの人達にちょっとした人気のカードです。表面にマンホール蓋の写真と設置場所の座標データ、裏面にデザインの由来と地域の情報が載っており、近隣で発行されているのは、札幌市・江別市・恵庭市でマンホールカードが発行されています。

残念ながら北広島市は、発行するまでには至っておりません。

北広島市のカード用マンホール蓋デザインは、ゆるキャラのマイピピをあしらったかわいい蓋となっています。カードは発行していませんが、マンホール蓋は10月10日から駅東、案内板付近の歩道に設置されていますので、今度探してみてください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月17日(火)
担当者 下水処理センター長 藤本 正志

おはようございます。下水処理センター長の藤本です。

私以下、主査2名、スタッフ2名、再任用職員1名の6名で日々下水と生ごみ・し尿処理の業務を行っております。

今回は、2回目の朝のスピーチとなるので、業務には関係ないお話から始めようと思います。

最近私の体調、特に体重を気遣ってか、或いは紹介キャンペーンの景品目当てか、妻が通っているフィットネスクラブに誘われ一緒に通うことになりました。

当然妻を除いて初対面の方々ばかりですので、「よろしくお願いします」のお決まりの自己紹介の後、「ようこそ」と温かい言葉と拍手をいただきました。

始まる前、顔を合わせたときには「こんばんは、こんにちは」、帰りの際には「お疲れ様でした」、トレーニング中にも色々言葉を掛け合い、大変楽しく通っております。

最近は、私達と同じようにご夫婦で参加されている方とも親しくなり、お互いに日時が合えば他の会場のクラスへ遠征やお出かけなど、ご一緒するようにもなりました。体を動かし汗をかき、仲間とのコミュニケーションをとることで、心身ともリフレッシュされています。

また、参加する目的は皆さん同じではありますが、年齢に幅もある個性豊かな100名を超える会員を束ね、指導するインストラクターの皆さんのご苦勞も大変なことと思います。

さて、仕事に振り返ると、他の部署と比較し少ない人数ではありますが、職場内のコミュニケーションはとれているのか、目配り・気配りはきちんとできているのだろうか、そして、組織目標に向かうため、どの様に導いて行けば良いのか、改めて考える良い機会ともなりました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月18日(水)

担当者 契約課長 川口 弘恭

おはようございます。契約課長の川口です。

契約課の紹介につきましては、昨年ご紹介しておりますので、今日は別のお話しをしたいと思います。

私が北広島市に住んだのは、昭和37年の春だと記憶しております。当時は、広島村で現在の共栄町に新十津川町から引っ越しをしてきて、東部小・東部中を経て札幌の高校へ通い卒業後当時の広島町役場に就職をし、なんと北広島に住んで55年が過ぎてしまいました。長いようで短い月日でしたが、今年60歳となり来年退職を迎えようとしています。

この間、振り返るといろいろな方との出会いがあり、その中で仕事でもプライベートでも、先輩や仲間に助けられた42年間でした。まだ、終わっていませんが。当時の同期は12名でしたが、退職等により一人減り二人減りと、今では市民課にいる榎本のおやじと2人だけになってしまいました。

この年寄りから皆さんに何か言葉を残すとしたら、仕事を一生懸命することはもちろんですが、「プライベートの時間を大切に」していただきたいと思います。仕事を離れて、思いっきりリフレッシュすることが大切かなと思っています。また、職場のつながりの付き合いも、忘れてほしくないなとも思います。自分の体を大切に、日々を過ごしていただければと思います。

話は変わりますが、契約課にも若い力があります。自称南米系の通称カルロスという、音別町出身の木川ですが、この木川が来年の2月19日にスピーチをする予定となっています。是非このスピーチを皆さん楽しみにしててください。何かととりとめのない話になってしまいました。

最後になりますが、気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月19日(木)
担当者 参事(審査・検査担当) 小島 靖雄

おはようございます。工事審査・検査担当参事の小島です。担当業務のお話は昨年しましたので、今日は全く関係ない話をさせていただきます。

皆さんもご存じのマツモトキヨシの話です。マツモトキヨシといっても大手ドラッグストアの話ではありません。まあ、創設者本人の名前をそのまま店の名前にしたわけで、そちらのほうが有名になったわけですから、マツモトキヨシさん本人のことは知らない方が多いかと思います。

松本氏は、昭和44年～昭和48年の4年4ヶ月の間、千葉県松戸市長を務め、現職のまま64歳で亡くなった方です。松本氏を市長として最も有名にしたのは市民の声に対して直ちに行動を起こす部署として全国的にも有名になった「すぐやる課」の設置でした。役所の縦割り行政では対応できない仕事に、「市役所とは市民に役立つ所、市民にとって役に立つ人がいる所」というモットーのもとすぐ出勤してすぐに処理をし、市民の好評を得ました。この思想は日本各地の市区町村長にも支持され、同名部署や同じ役割の部や課が続々とでき、昭和50年には全国315の自治体で採用され、テレビドラマにもなった記憶があります。松本氏は、今では日本最大のドラッグストアチェーン「マツモトキヨシ」として名を残すだけでなく、商人の感覚で次々と松戸市政を大改革し、わずかの間で数多くの実績を成し遂げました。そのエピソードとともにユニークな言葉を残しているのでぜひ、松本清にまつわる本を読んでみてください。松戸市には、今でも「すぐやる課」があるということです。

我が市役所にはそのような部署はありませんが、どの課も「すぐやれる課」であればと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月20日(金)

担当者 会計課長 広田 律

おはようございます。会計課長の広田です。

私は、35年前に当時の広島町役場に入庁以来、総務部総務課をはじめとし、いくつかの部署を経験していますが、その業務の多くを占めていたのは、経理事務でした。残念ながら、直接住民と接する仕事は多くありませんでしたが、経理事務やそれ以外の内部業務を確実に行うことも、公務員としての重要な職責と考えていますので、5年前に会計課への人事異動の内示があったときは、それまでの経験と知識を還元できる職場だと、嬉しく感じたのを覚えています。

さて、私が仕事をするにあたって常に心掛けていることは、経理事務はもちろんのこと、何か疑問が生じたときは、できるだけその根拠や他自治体の事例などを調べることです。そうすることで、自分の考えや手法に間違いがないか確認することができ、調べている事柄以外のことも目に入ってきますので、知識が豊富になり、多様な考え方ができるようになると考えています。

ただ単に、事務作業の手順を覚えたり教えたりすることは、時間さえかければ誰にでもできます。一自治体の職員として経験を積むということは、携わる業務の根拠法令はもちろんのこと、業務内容をよく理解し、問題が生じた時は、迅速にその解決策を見出すことができるということではないでしょうか。

もし、会計課から経理事務の誤りを指摘されたときは、どこにその根拠があるのか調べてみてください。インターネットを利用することで、わずかな時間で多くの情報が得られるはずです。そして調べた内容が知識となり、次回はきっと同じ指摘をされずに済むと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月23日(月)
担当者 議会事務局次長 千葉 めぐみ

おはようございます。議会事務局の千葉です。

昨日の選挙事務に従事された職員の皆さん大変お疲れ様でした。開票事務が深夜におよび寝不足の方も多いことと思いますが、頑張ってお仕事をしてください。

今回2回目の朝のスピーチとなり、何を話そうかと悩みましたが、来年で北広島団地在住40年となる私が選んだ、北広島団地の自慢できる場所を紹介し、団地地域の魅力をPRさせていただきたいと思います。その場所は、季節に応じて様々な表情を見せてくれる、1周約5キロのとても素敵な散歩道の北広島幹線緑道トリムコースです。ここの秋のおすすめスポットは、松葉陸橋から見渡す広葉通の銀杏と北広公園の紅葉です。特に今年の紅葉は鮮やかな赤とオレンジ色が調和して本当に見事です。また春のおすすめスポットは、双葉小学校とわかば幼稚園の間にある大きな桜です。満開の時も素敵ですが、散り始めるとたくさんの花弁が次から次へと降ってきて、とても優雅な気分でウォーキングができます。

トリムコースでは、犬の散歩、ジョギング、ウォーキングをする人など多くの人とすれ違い、追い越し追い越されますが、親子連れに会うことは少ない気がします。私も子どもが幼い時にはこのトリムコースの素晴らしさに気付かずに、一緒に歩いたことはありません。今思うともったいないことをしたと後悔しています。若い職員の皆さんぜひ子どもさんと一緒に季節を感じながら歩いてみてください。トリムコースは8つの児童公園に面しているので、公園めぐりをするのも楽しいと思います。中高年の職員の皆さんも、トリムコースを歩いて、気持ちの良い汗をかいてメタボの解消を試してみませんか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月24日(火)
担当者 監査事務局次長 川口 昭広

おはようございます。監査委員事務局次長の川口です。

監査委員事務局は、独立した執行機関として第三者の立場で監査や検査などを実施しています。いよいよ来月11月から来年2月にかけて、平成29年度定例監査が行われます。職員の皆様方におかれましては、監査調書作成及び監査当日でのご協力をお願いいたします。

さて、私たちの職場は、一世代以上の年齢差の職員が協力して業務を行っているわけですが、思わぬところに認識のギャップがありスムーズな業務を困難にしているようです。これまでの監査指摘事項を見ても、公文書などの修正テープなどでの訂正。補助金等交付事務における、決算書や帳票類と預金通帳残高とのチェックの未実施。契約事務において、契約書の標準様式を訂正することなくそのまま使用するなどの事例がありました。

文書管理や会計処理において、管理職が当然と思っていることでも、若手職員がそう思っているとは限りません。ベテラン職員と若手職員では、育ってきた環境が違います。仕事の進め方、理解度も「当たり前が違う」と言ってもいいかもしれません。

本市では、総合計画を基本に様々な施策を実施しており、この過程で重要になるのが、内部意思決定である決裁であり会計事務であります。ここでの事務の誤りは、施策の効果だけでなく市全体の信頼を失わせることにもなります。

毎日の職場において、コミュニケーションを図ることはもちろん、管理職においては、仕事の全体像を把握し、適切な事務が行われるよう指導願います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月25日(水)
担当者 学校教育課長 河合 一

おはようございます。教育委員会事務局教育部学校教育課長の河合です。

今年度より管理職に昇任し、学校教育課長の辞令をいただいて半年が過ぎました。

4月以降、ダイナミックに変わった環境の変化に不安と戸惑いを感じながらも、校長会や教頭会での教育委員会連絡事項等の作成、市議会の答弁書作成や議会答弁の他、教職員人事等の学校教育・特別支援教育の推進、青少年の健全育成等に取り組みました。

特に議会答弁は、「自分の発言は市教委の見解であり、教育長の声の代弁」となることから、殊更念入りに答弁調整等に当たってきたことが思い返されます。

しかし、自身の業務に視線が集中し過ぎ、学校教育課の事務事業の進行管理、スタッフ間のコミュニケーションの構築等は管理職として適切に把握し、指導や助言ができていたのか、自己評価として振り返ることが多々あるこの頃でした。

勿論、最初からパーフェクトに物事が進んでいくことを望んでいる訳ではありませんが、これまで受講してきた人事評価に関する研修等から飛躍し、より専門性の高い研修等への参加を通じて、管理職に必要なマネジメントを基本からテコ入れしたいと考え、10月5日から6日までの2日間、管理能力研修を受講してまいりました。

研修では、管理職としてリーダーシップを発揮するための具体的な行動の中でも特に「観察・傾聴・想像」の3つのスキルは、他のスキルを実践していく上でも重要な要素であることを学んだり、「ヒトが一番のリソース」や「人員不足は問題ではなく条件」など、重要なキーワードを発見する機会にもなり、自身が設定したテーマへアプローチしてくれる講師の講義やグループワーク等、本研修への参加は私にとって大変意義の深いものだったと思います。

今後、私は自身のマネジメント目標の第1として「明確な目標に向かって取り組もうとする組織作り」と設定し、目標達成のための具体的な行動を実践していきたいと考えます。

そして、マネジメントに必要な経営資源を最大限に効果的・効率的に活用し、本市の職員として求められ、そして市民に求められる職員を育成していく視点を大切に日々の業務にあたっていきたいと考えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月26日(木)
担当者 小中一貫教育課長 富田 英禎

おはようございます。小中一貫教育課長の富田英禎です。

今日は、「ほうれんそうのおひたし」についてお話しします。とはいっても料理の話ではありません。

言い古された有名な言葉に「ほう・れん・そう」というのがあります。「報告・連絡・相談」の頭をとって語呂合わせしたものであります。

先日、ネットで「ほうれんそうのおひたし」という言葉を見かけ、とても感銘を受けました。「ほうれんそう」の後に、

お：怒らない、

ひ：否定しない、

た：助ける、

し：指示する という、「ほうれんそう」を受ける側の心掛けが書かれており、悪い内容でも、この点を注意していると早めに相談してくるので、対策を打ちやすい、とのことであります。

「ほうれんそう」も、本来の意味は「報告、連絡、相談をしやすい環境を作ろう」という、報告を受ける側の心掛けだったものが、いつしか報告をする側の心掛けとして定着したのですが、「ほうれんそう」が新鮮なうちに「おひたし」にすることで、より報告を受ける側が、情報をおいしく料理できるようになるのではないかと思います。

これから、「ほうれんそう」を受けるときには、この「おひたし」を心に、対応していきたいと思った次第です。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月27日(金)

担当者 社会教育課長 吉田 智樹

おはようございます。教育委員会社会教育課長の吉田です。

職員のみなさんにおかれましては、本日も元気いっぱいの朝を迎えられていますでしょうか。

社会教育課は2名の主査と7名のスタッフ、さらに、5名の非常勤と1名の臨時職員15名の体制で日々明るく楽しく、時には厳しく、生涯学習・社会教育の振興に取り組んでいるところであります。

さて、私事では恐縮ですが、先月まで約二ヵ月間病気治療のため入院しており、その間、多くの皆さんにご迷惑、ご心配おかけしましたこと、お詫びと感謝を申し上げます。

約二ヵ月間の入院生活は、つかの間のスローライフでもあり、自身の体と向き合いながらの病との戦いでもありましたが、私自身の貴重な体験でもありました。

入院患者には様々な病と戦っている人たちがいました。

また、様々な人生を背負い目に見えない病と戦っている人たちがいました。

中には、病と向き合えずふさぎ込んでしまう人。

中には、病がゆえにお世話してくれる看護師に無理や文句を言うってしまう人。

逆に「ありがとう」と感謝する人。

時には、自分の病をさておき、親身になって他人の病と一緒に悩んでくれる人。

そして、病に向き合い前向きに明るく楽しく治療やりハビリに取り組む人。

本当に様々な人たちと出会うことができました。

あらためて、心と体が健康であることの素晴らしさを感じるとともに、人は一人では乗り越えられないものがあると感じました。誰かに助けられ、誰かを助け、支え合いながら生きていくものだと感じました。

この経験を今後の業務に活かすためにも、まずは健康第一！！

私たち職員は、市民の声に耳を傾け、まちの未来を創造し、その場、その時に的確に、そして、適切に判断していくことが求められています。その上でも、心と体の健康は必要不可欠であり、私が言うのも何なのですが、健康であり続けることも大切な業務の一つであると自覚する必要があると感じたところでもあります。

第二に、チームワーク！！

様々な業務の課題解決や業務の未来を創造する上で、個々のスキルを高めることも必要ではありますが、個々が培った経験や知識、そして情報をチーム全体で共有しあいながら、仲間を思いやり、互いに支え合いながらチーム一丸となった業務への取組が必要だと感じたところです。

このようなことを自身にもしっかりと言い聞かせながら今後の業務に取り組んでいきたいと考えているところであります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月30日(月)

担当者 文化課長 丸毛 直樹

おはようございます。教育部文化課長の丸毛です。

今回は、私が勤務しております芸術文化ホールでの皆さんの活動についてお話致します。

芸術文化ホールは「花ホール」の愛称で、皆さんにご利用頂き、平成28年度には、およそ9万3千人の方々にご利用頂きました。

597席を擁するホールでは、クラシック音楽やダンス、演劇、カラオケの発表などの他、講演会・研修会の会場として、多くのご利用を頂いております。

その中で、今回お話したいのは、芸術文化活動に励んでおられる皆さんの表情にあります。

特に、舞台発表に挑む皆さんの発表前の不安と緊張の表情、一生懸命な発表の表情、そして発表を終えた安堵の表情、それはほとんど笑顔で締めくくられています。

その裏には、舞台発表に至るまでの長い練習の積み重ねがあることは、間違いありません。

練習での努力と本番を迎える緊張、終演後の達成感、舞台上で演じたことがある方にしか味わうことの無い特別な感覚であることでしょう。

また、団体での舞台発表では、仲間との達成感や一体感も格別なものではないでしょうか。

人生長くなりますと、緊張の瞬間が少なくなってくるように思います。ましてや何かにチャレンジすることが少なくなれば、尚更のことです。

芸術文化の秋を迎え、活動の素晴らしさは、こんなところからも生まれてくると考えています。今後とも芸術文化ホールへのご来館を、お待ちしております。

何か、新たな発見や感動があるかもしれません。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年10月31日(火)

担当者 エコミュージアムセンター長 小島 晶

おはようございます。エコミュージアムセンター長の小島晶です。今回は、昔の仕事が今につながることに、最近の仕事で感じていることなどをお話したいと思います。

私が広報担当だった平成12年、まだ政策や施策の中に「エコミュージアム」という言葉が現われていないころ、エコミュージアムの視点で連載記事「新・博物史北広島MAP」を開始し、5年余り連載されました。

この記事では昔の道路や川の形が残る場所、古い神社の参道跡、バス路線の痕跡、農業用水路やため池の痕跡など、地域遺産を多数取り上げ、当時を知る市民の方にも取材しました。

その後、この記事は市のHPに掲載され、「まちを好きになる市民大学OB会」の活動材料とされたことを、十数年後にOB会員の方から知らされ、その1年後から、エコミュージアムの仕事をすることになりました。このように、昔の仕事が今の仕事につながりました。

さて、北広島市は変化のスピードが速く、20~30年前まであった風景がいつの間にか失われていることがあります。でも、かつての風景の痕跡が残ることもあります。

私の職場が入る広葉交流センターも、北広島団地の少子高齢化による学校統合で生まれた学校跡施設を改造したもので、これもまちの歴史を伝える痕跡の一つです。

今年5月に竣工した市役所庁舎は、役場時代から数えると4代目の庁舎で、最初の庁舎からほぼ同じ場所に建て直してきたことは、この場所のポテンシャルが非常に高いことを物語っていると感じます。

しなやかに成長を続けてきた北広島市では、今後も景色を変えるような大事業があるかもしれません。そのときは、未来の市民が歴史の痕跡に気づく仕掛けとして、現在の風景の要素をきちんと残していく必要を感じているところです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。